

CAC通信

Fiscal Year
2013

2013年12月期 中間報告書
2013.1.1 ~ 2013.6.30

株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月下旬開催
期末配当基準日	12月31日(中間配当金の支払いを行うときは6月30日)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 (http://www.cac.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のトピックスをはじめ、株主・投資家様向けに様々な情報をご案内しております。ぜひご利用ください。

<http://www.cac.co.jp/>

Top Page



IR Page



株式会社シーエーシー

本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 24-1 TEL.03-6667-8000 (代表)

文字の読みやすさ(視認性)を高めたユニバーサルデザインフォントを使用し、よりわかりやすいレイアウトにしています。



CAC



成長分野の医薬品開発支援に注力しています。

代表取締役社長 酒匂 明彦

ITサービスは全般的に厳しいものの、医薬品開発支援サービスが堅調で、売上高、利益ともに期初計画水準となりました。

2013年度第2四半期(1~6月)においては、ITサービス(システム構築およびシステム運用管理)は全般的に厳しい状況で推移しましたが、BPO/BTOサービスの主力である医薬品開発支援サービスが製薬会社のアウトソーシング志向を背景に堅調だったため、売上高および利益は、ほぼ期初の計画水準となりました。これを踏まえ、中間配当金は、計画どおり1株につき16円とさせていただきます。

今後の取組みにつきましては、グローバル化などITサービス市場で構造的変化が進んでいることから、事業構造の変革を加速して収益基盤の確保に努めるとともに、成長分野である医薬品開発支援サービスの受注推進と事業領域の拡張に注力し、持続的な成長を図ってまいります。

中期的課題への取組み状況

特化分野の先鋭化

- ・CAC エグジクティブの事業領域の拡張
- ・年金総合研究所との連携推進

海外サポート力の拡大

- ・医薬品開発支援分野での提携/M&A 推進
- ・提携先への国内IT案件の委託が軌道に

新事業領域の強化

- ・新領域サービス(クラウド系など)の強化
- ・外部企業との相互補完の積極化

知識集約型企業へ

- ・開発、運用の国際標準モデル採用
- ・開発プラットフォーム(AZAREA)の利用拡大

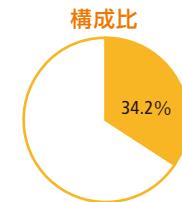
四半期連結業績概況 (1~6月)

(単位:百万円)

	当第2四半期(2013年度)	増減率(%)
受注高	20,074	△0.2
売上高	20,585	6.0
営業利益	1,347	△1.4
経常利益	1,453	0.4
四半期純利益	780	332.6

サービス別売上高

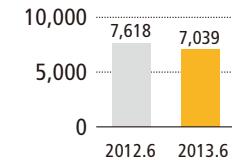
システム構築サービス



主要なサービス

- システムコンサルティング
- システム開発
- システム保守
- インフラ構築
- パッケージインテグレーション

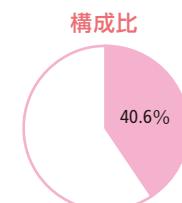
売上高(単位:百万円)



ポイント

金融分野は増加したものの、信託、医薬、食品分野が減少したことにより、売上高は前年同期比7.6%減少の70億39百万円となりました。また、営業利益は2億28百万円となりました。

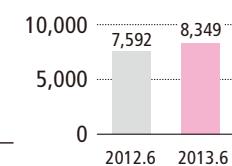
システム運用管理サービス



主要なサービス

- 運用コンサルティング
- システム運用
- アプリケーション運用
- データセンター
- ヘルプデスク/コールセンター

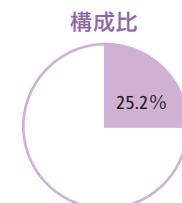
売上高(単位:百万円)



ポイント

サービス分野の顧客向けにハードウェア売上を伴う案件のあったことが寄与し、売上高は前年同期比10.0%増加の83億49百万円となりました。また、営業利益は3億45百万円となりました。

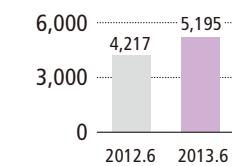
BPO/BTOサービス



主要なサービス

- ビジネスプロセス・アウトソーシング
- ビジネス トランスフォーメーション・アウトソーシング

売上高(単位:百万円)

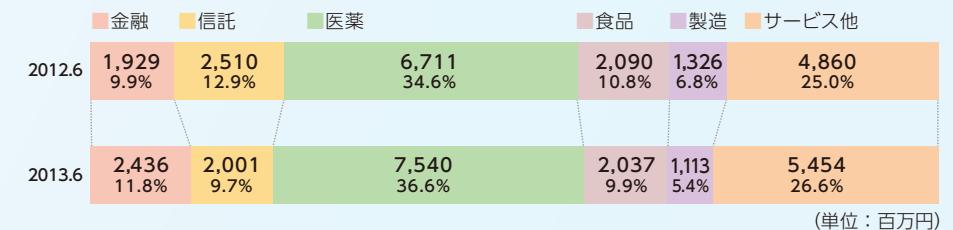


ポイント

医薬品開発支援サービスが引き続き堅調に推移したため、売上高は前年同期比23.2%増加の51億95百万円となりました。また、営業利益は7億73百万円となりました。

業種別売上高

医薬品開発支援サービスが牽引し、医薬向けが伸長。金融、サービス他向けも増加。



金融業向けサービス



40年以上の実績

銀行などの金融機関は、国内外のIT投資において主要な地位を占めており、当社でも金融機関向けシステム開発は主力事業のひとつです。

当社は、大手銀行、大手信託銀行などを主要顧客に、40年以上にわたって数多くのシステム構築に携わってきており、この間に蓄積した金融業務の専門知識を基盤に、企画・設計段階からお客様と一体となって最適なシステムづくりを推進しています。金融機関のシステムは、稼働後も制度変更への対応などのため継続的に保守・拡張しながら使われることが多いため、当社は保守も一貫して担当し、お客様の業務を継続的に支えています。

得意分野

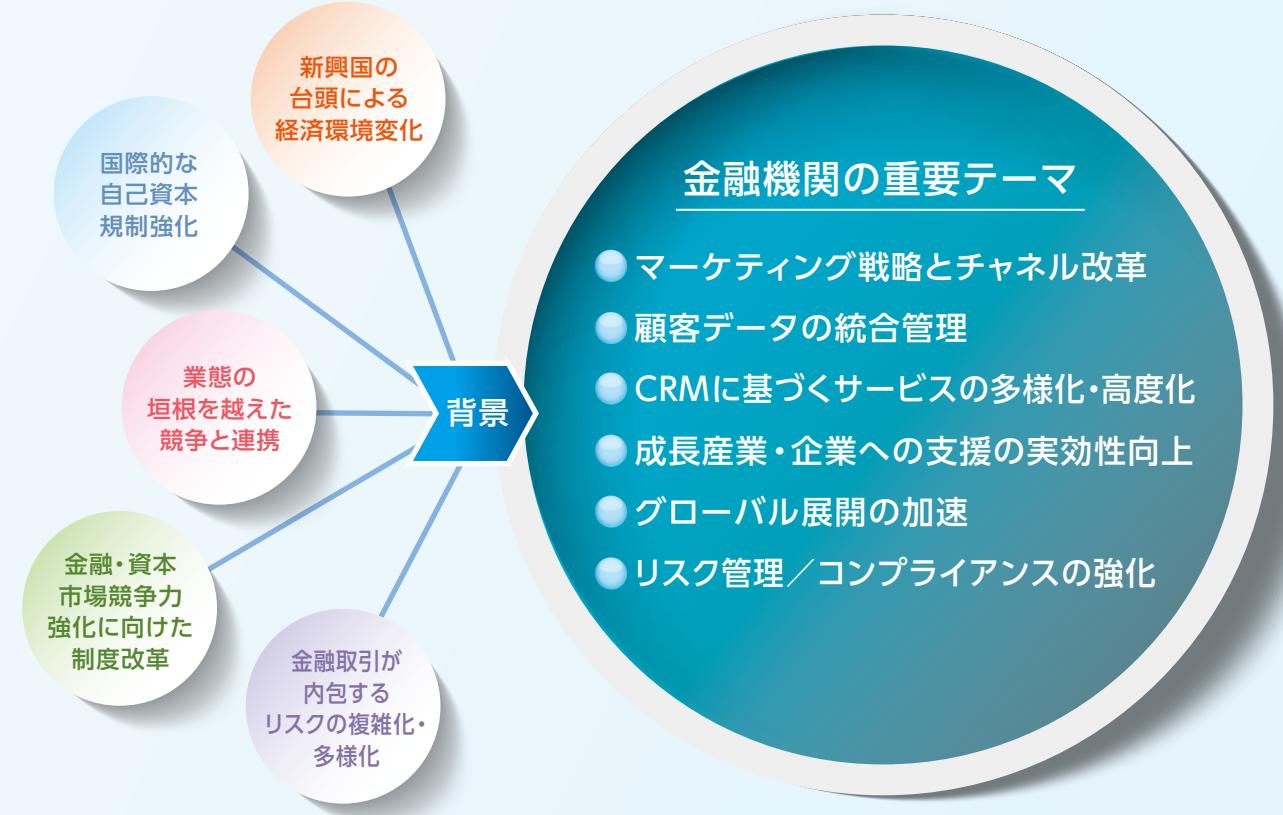
金融機関は多様な分野でITを活用していますが、当社はこうした需要に総花的に対応するのではなく、特化領域を定めて同業他社との差別化を図っています。現在は、外国為替業務、有価証券・デリバティブなどを扱う市場系業務、リスク管理、顧客情報管理、海外店／現地法人の勘定系業務、年金業務などに注力し、これらの分野で高い評価を確立することを目指しています。ATMのように一般の方の目に触れることは多くなくても、金融機関の業務遂行や経営管理をしっかり支えています。

海外展開

メガバンクなど大手金融機関を中心に、グローバルでの事業展開が積極的に推進されています。これに伴い、海外拠点のシステムを再構築したり、各国の拠点のシステムを共通化・標準化したりといったIT投資需要も拡大しています。当社は、ニューヨーク、ロンドン、上海、インドなどに拠点を有しており、これらと日本の本社が連携して各邦銀のシステム構築案件に対応することで、今後の成長分野の需要を着実に取り込んでいく考えです。

新規領域の強化

規制緩和によって銀行の扱う商品・サービスが拡大するなか、個々の顧客に最適な商品を提案するため、顧客情報を管理し営業活動の効果を高めるITの活用が重要となっています。当社は、こうした顧客情報管理／営業支援の分野でも先進的な事例を手掛け、ノウハウを蓄積しています。こうしたニーズにいち早く応えることで、金融機関の業務の多様化・高度化を支えるとともに、業容の拡大を図っています。





新卒採用における 秋入社制度を開始

2013年度から、従来の春(4月)入社に加え、秋(10月)入社の制度を開始しました。より多様な学生との出会いを作り、優秀な人材を獲得するための人材戦略の一環です。海外の大学は卒業時期が日本で一般的な3月ではないところが多く、また日本国内でも秋入学制度導入などにより卒業時期が多様化しつつあります。こうした学生の皆さんには卒業後スムーズな入社を実現できる、メリットの多い制度と考えています。春入社同様、学生の皆さんの国籍は問わないので、当社ビジネスのグローバル展開の加速にも役立つと考えています。



クラウドコンピューティング EXPOに出展

5月8日(水)～10日(金)、東京ビッグサイトで「第4回クラウドコンピューティングEXPO(春)」が開催されました。当社は、アマゾン社のクラウドサービス「Amazon Web Services®(AWS)」の認定パートナーとして、AWSを活用した様々なサービスを展開しており、今年も同EXPOのAWSブース内に他のパートナー企業とともに共同出展しました。運用・管理機能付きIaaSサービス「C-nu@ge Enterprise Cloud +」、クラウド対応のアプリケーションフレームワーク「AZAREA-Cluster」をメインに出展、多くのご来場者があり、クラウドサービスの期待の高まりを実感するイベントとなりました。

株式の状況 (2013年6月30日現在)

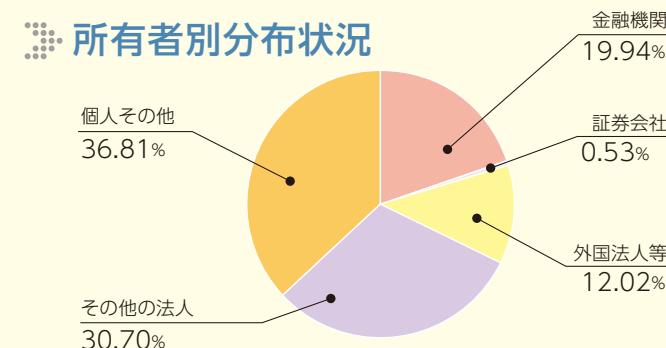
発行可能株式総数	86,284,000株
発行済株式の総数	21,541,400株
総株主の議決権の数	199,046個
株主数	4,976名

大株主

株主名	議決権数(個)	議決権比率(%)
株式会社小学館	35,122	17.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	17,641	8.86
アステラス製薬株式会社	10,777	5.41
キリンホールディングス株式会社	10,400	5.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,312	4.67
CAC社員持株会	7,435	3.73
株式会社三井住友銀行	4,840	2.43
ザ・チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	4,629	2.32
東洋ゴム工業株式会社	2,890	1.45
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	2,656	1.33

(注)当社は、2013年6月30日現在、自己株式1,634,020株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別分布状況



※構成比は株式数の比率を示しております。

会社の概要 (2013年6月30日現在)

商号	株式会社シーエーシー
英文社名	CAC Corporation
本社	東京都中央区日本橋箱崎町24番1号 TEL.03-6667-8000(代表)
設立	1966年8月8日
資本金	37億204万円
従業員数	1,059名(グループ従業員数2,219名)
営業品目	コンサルティング・サービス システム・インテグレーション システム開発サービス システム保守サービス BPO サービス システム運用管理サービス データセンター・サービス ヘルプデスク・サービス デスクトップ・サービス 情報処理サービス ソフトウェア/ハードウェアの販売

役員 (2013年6月30日現在)

代表取締役会長	島田 俊夫
代表取締役社長	酒匂 明彦
取締役兼執行役員	川真田 一幾
取締役兼執行役員	安達 利宏
取締役兼執行役員	長倉 浩和
社外取締役	花田 光世
社外取締役	松島 茂
社外取締役	廣瀬 通孝
社外取締役	黒田 由貴子
常勤監査役	松村 晶信
常勤監査役	大須賀 正之
社外監査役	藤谷 護人
社外監査役	大澤 敏男